

貧困の克服についてアジアの若手知識人と議論する 日本人参加者を募集します

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、来る12月に「社会的包摂アプローチによる貧困の克服:グローバル経済におけるアジア・大洋州地域の現状」を主題に、日本を含む東アジア地域16カ国の若手知識人が参加する JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムを実施します。

若者の失業と貧困化(自国民及び移民)、ワーキングプア(正規雇用及び非正規雇用)、セーフティネット(雇用、社会保険、公的扶助、家族・友人)、格差の固定化、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン) / 社会的排除(ソーシャル・エクスクルージョン)、グローバル化と新自由主義などをキーワードに、行政官、ビジネスパーソン、NGO職員、医療・福祉・教育分野関係者、ジャーナリスト、研究者・エコノミストなどが、貧困克服のためにどのような活動及び連携が出来るのか、また経済発展段階が異なる国々の経験から何を学びあえるのか、日本の課題と取り組みを視察しながら考察します。

については、海外15カ国から来日する若手知識人とともに11日間寝食を共にして、議論を深めてくださる日本人参加者を以下の通り募集します。(プログラム期間中の移動・宿泊代・旅行傷害保険料は国際交流基金が負担します。)

期 間 : 2008年12月9日(火)~12月19日(金) (全日程の参加が必須)

実施地 : 東京都、横浜市、高知県など(予定)

募集人数 : 3~4名程度

応募資格 : 以下の要件を満たす者

- ・ 2008年12月1日現在で35歳未満であること。学界、行政、ビジネス、ジャーナリズム、NGOなどの分野で活動しており、今後も引き続き活動を行う意志のある者。
- ・ 英語で本テーマについて自分の職業上の経験・意見を十分に発表し、討議する能力がある者
- ・ 日本国籍を有する者

応募締切 : 2008年10月31日(金)

応募方法・プログラム詳細 : <http://www.jpff.go.jp/j/jenesys/intel/exchange/apply08.html>

告知記事として掲載いただけますと幸いです。

お問い合わせ : 日本研究・知的交流部 アジア・大洋州課 向、麦谷

電話 : 03-5369-6070、電子メール Mika_Mukai@jpff.go.jp